

Mizuho Daily Market Report

2026/3/11

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	157.33	158.05	+0.38	+0.31
EUR	1.1657	1.1611	▲0.0025	▲0.0002
AUD	0.7114	0.7120	+0.0044	+0.0084
SGD	1.2712	1.2730	▲0.0016	▲0.0040
CNY	6.8734	6.8685	▲0.0385	▲0.0496
MYR	3.9276	3.9235	▲0.0395	▲0.0225
THB	31.60	31.62	▲0.48	+0.17
IDR	16866	16861	▲84	+4
PHP	58.91	58.90	▲0.61	+0.47
INR	91.79	91.81	▲0.52	+0.33
VND	26229	26240	▲35	+57

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.156%	+6.0 bp	+9.6 bp
日本(10年)	2.180%	▲1.2 bp	+3.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.836%	▲2.3 bp	+8.4 bp
オーストラリア(5年)	4.560%	▲8.2 bp	+12.7 bp
シンガポール(5年)	1.653%	▲4.4 bp	+8.5 bp
中国(5年)	1.553%	▲1.0 bp	+1.1 bp
マレーシア(5年)	3.351%	▲3.2 bp	+2.7 bp
タイ(5年)	1.324%	+0.7 bp	+16.9 bp
インドネシア(5年)	6.096%	▲2.4 bp	+19.6 bp
フィリピン(5年)	6.044%	+20.9 bp	+44.2 bp
インド(5年)	6.346%	▲4.9 bp	+3.2 bp
ベトナム(5年)	3.850%	+1.8 bp	+3.9 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	47,706.51	▲0.1%	▲1.6%
N225(日本)	54,248.39	+2.9%	▲3.6%
STOXX50(ユーロ圏)	5,837.17	+2.7%	+1.1%
ASX(オーストラリア)	5,579.60	+1.6%	▲0.7%
FTSTI(シンガポール)	4,860.64	+2.2%	▲1.1%
SSEC(中国)	4,123.14	+0.6%	+0.0%
SENSEX(インド)	78,205.98	+0.8%	▲2.5%
JKSE(インドネシア)	7,440.91	+1.4%	▲6.3%
KLSE(マレーシア)	1,701.68	+1.6%	▲0.6%
PSE(フィリピン)	6,126.66	+2.0%	▲4.9%
SETI(タイ)	1,405.76	+1.6%	▲4.1%
VNINDEX(ベトナム)	1,676.73	+1.4%	▲7.5%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	348.03	▲2.5%	+6.7%
金	5,191.98	+1.0%	+2.0%
原油(WTI)	83.45	▲11.9%	+1.1%
銅	12,886.78	+0.0%	▲0.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	155.60	—	158.80
EUR/USD	1.1470	—	1.1850
AUD/USD	0.6785	—	0.7280
USD/SGD	1.2560	—	1.2880
USD/CNY	6.8260	—	7.0190
USD/MYR	3.8700	—	4.0030
USD/THB	30.50	—	32.45
USD/IDR	16550	—	17000
USD/PHP	56.10	—	60.30
USD/INR	89.70	—	92.80
USD/VND	25,900	—	26,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は157円台後半でオープン。イラン情勢を巡る過度な懸念が和らぎ、原油相場の先高観が後退する中で157円台前半まで下落。一巡後は先行き不透明との見方からか、157円台後半で揉み合う展開となった。結局、157円台半ばで海外時間に渡った。アジア通貨は総じて堅調。トランプ大統領の発言から市場不安が和んだ。

欧州時間に入るとトランプ大統領からイラン攻撃の早期終結が示唆されたことで、原油価格は下落、株式相場は上昇。ドル円もドル売り優勢となり一時157円台前半まで下落。その後徐々に反発し、158円付近まで上昇、157円台後半でNY時間に渡った。NY時間のドル円は、特段注目の米経済指標の発表を予定していない中、引き続き中東情勢の緊迫が後退した事を背景にドル売りが先行し157円台半ばまで下落。午後は売り一巡となり、終盤にかけては158円台前半付近まで戻し、クローズ。

【金利】

前日比米債利回りは上昇。トランプ大統領が戦争終結の可能性を示したことでNY時間序盤は買いが優勢。ただその後、米3年債入札の結果が低調だったことや、イランがホルムズ海峡で機雷敷設の準備を進めているとの情報を米情報機関が確認した等の報道を受け、市場心理が悪化。引けにかけては売りが優勢となり、結局米10年債利回りは前日比+6.0bpの4.156%で引けた。

【予想】

本日のドル円は方向感なく推移する展開を予想。本日は米2月CPIが予定されているが、市場の注目は足元の原油価格高騰、およびインフレへの影響であり、あまり材料視されないであろう。トランプ大統領の戦争早期終結報道を背景に市場の過度な緊張感や和らいだものの、引き続き、中東情勢の先行きを見極めたい市場参加者は多く、ヘッドラインに振られる展開を予想。

【本日の予定】

(日本) 2月 国内企業物価指数
(日本) 国債入札(5Y)
(日本) 東日本大震災15年
(アジア) 3月 韓国 輸出10日間 / 輸入10日間
(欧州) 1月 西 小売売上高
(欧州) 2月 愛 新車登録台数
(欧州) 2月 独 CPI(確)
(欧州) 独 国債入札(10Y)
(米国) 2月 CPI
(米国) 2月 実質平均時給
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(10Y)